東北地方　３か月予報

（５月から７月までの天候見通し）

平成２０年４月２４日
仙台管区気象台発表

＜予想される向こう３か月の天候＞

向こう３か月の出現の可能性が最も大きい天候と特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。
気温は、高い確率が５０％です。

５月　天気は数日の周期で変わるでしょう。東北地方は平年と同様に晴れの日が多い見込みです。
気温は、高い確率が５０％です。

６月　天気は数日の周期で変わるでしょう。東北地方は平年と同様に曇りや雨の日が多い見込みです。

７月　天気は数日の周期で変わるでしょう。東北地方は平年と同様に曇りや雨の日が多い見込みです。

＜向こう３か月の気温、降水量の各階級の確率（%）＞

＜＜気温＞＞

［東北地方］

	低い	平年並	高い
３か月	20	30	50
５月	20	30	50
６月	30	30	40
７月	30	30	40

＜＜降水量＞＞

［東北地方］

	少ない	平年並	多い
３か月	30	40	30
５月	30	40	30
６月	30	40	30
７月	30	40	30

＜次回発表予定等＞

１か月予報：毎週金曜日　１４時３０分　次回は４月２５日
３か月予報：５月２２日（木）　１４時

５月の予報については、新しい資料による次回以降の１か月予報を適宜ご利用ください。

なお、最近の天候経過と新しい予測資料をふまえ暖候期の天候について検討しましたが、２月２５日に発表した暖候期予報の内容に変更はありません。

＜参考資料（平年並の範囲等）＞

（１）平年値（月・３か月平均気温、降水量、日照時間）

	気　温(℃)				降　水　量(mm)				日照時間(時間)			
	５月	６月	７月	５月～７月	５月	６月	７月	５月～７月	５月	６月	７月	５月～７月
青森	13.1	17.0	21.1	17.1	78.8	82.2	102.6	263.6	210.1	180.7	177.3	568.1
深浦	13.0	17.2	21.3	17.2	108.8	109.4	146.0	363.4	197.4	179.6	177.7	554.7
むつ	12.1	15.6	19.6	15.8	92.3	109.0	122.8	324.0	207.7	162.6	151.1	521.4
八戸	13.1	16.1	20.2	16.5	84.7	99.2	117.1	301.0	207.5	168.8	169.0	545.4
秋田	14.2	18.8	22.8	18.6	122.8	127.5	178.1	428.4	191.4	178.0	171.5	540.8
盛岡	13.8	18.2	21.8	17.9	103.3	114.9	165.7	384.0	194.9	151.7	143.2	489.8
大船渡	13.6	17.3	21.0	17.3	149.8	171.5	170.3	485.6	196.3	148.2	150.0	494.5
宮古	13.1	16.0	20.0	16.3	98.4	117.3	139.2	354.8	191.8	140.4	149.4	481.6
仙台	14.9	18.3	22.1	18.4	107.9	137.9	159.7	405.5	198.7	127.9	127.7	454.3
石巻	14.0	17.7	21.3	17.6	98.2	111.6	131.0	340.9	206.5	145.6	147.9	500.0
山形	15.4	19.5	23.2	19.4	81.3	102.6	143.9	327.8	201.9	153.8	155.8	511.5
新庄	14.2	18.7	22.3	18.4	106.6	131.0	185.6	423.3	180.1	152.7	154.4	487.2
酒田	14.9	19.3	23.2	19.1	116.8	128.1	186.1	430.9	198.7	175.9	179.8	554.4
福島	16.5	19.9	23.5	20.0	87.5	118.1	144.8	350.4	198.1	130.1	133.4	461.6
若松	15.5	19.8	23.4	19.6	80.5	115.7	160.1	356.3	197.9	157.9	168.9	524.7
白河	14.8	18.4	22.0	18.4	120.0	167.6	186.8	474.4	188.4	121.9	129.4	439.9
小名浜	15.1	18.3	21.7	18.3	147.0	149.8	120.5	417.3	198.4	138.4	153.1	489.9

欠測により平年値を求めるための資料年数（観測値のある年数）が各月毎に異なることなどにより、３か月平年値等が各月の平年値から求めた値と一致しないことがあります。

（２）1971 ～ 2000 年のデータに基づいたこの予報期間の地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差（比）の「平年並」の範囲は次のとおりです。

要　素	予報対象地域	５月	６月	７月	５月～７月
気温平年差(℃)	東北地方	-0.3 ～+0.4	-0.6 ～+0.2	-0.1 ～+0.6	-0.3 ～+0.2
	東北日本海側	-0.3 ～+0.4	-0.5 ～+0.2	-0.2 ～+0.4	-0.3 ～+0.3
	東北太平洋側	-0.3 ～+0.4	-0.5 ～+0.2	-0.3 ～+0.8	-0.3 ～+0.3
降水量平年比(%)	東北地方	86 ～ 115	82 ～ 118	89 ～ 117	96 ～ 113
	東北日本海側	84 ～ 110	71 ～ 105	83 ～ 123	97 ～ 109
	東北太平洋側	82 ～ 111	88 ～ 111	85 ～ 114	91 ～ 106
日照時間平年比(%)	東北地方	98 ～ 105	95 ～ 106	92 ～ 109	96 ～ 104
	東北日本海側	95 ～ 104	96 ～ 107	88 ～ 108	96 ～ 105
	東北太平洋側	99 ～ 106	90 ～ 108	93 ～ 110	97 ～ 105

（３）梅雨時期前後における各地の平年の気象経過

旬降水量平年値(mm)	５月			６月			７月			８月		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
青森	30.0	22.6	26.2	23.6	30.9	27.8	36.8	27.7	38.2	43.2	33.8	52.3
深浦	41.3	33.5	34.0	29.4	44.4	33.6	54.4	43.2	48.3	53.8	38.6	65.0
むつ	35.8	27.6	28.8	36.3	36.8	35.8	48.1	39.4	35.3	43.2	32.8	64.4
八戸	26.1	28.6	30.1	26.6	38.1	34.5	48.3	31.7	37.1	37.3	38.2	61.7
秋田	46.5	40.2	36.2	29.7	50.6	47.2	71.5	61.5	45.1	56.8	51.5	73.6
盛岡	38.6	32.7	32.0	30.8	43.3	40.8	56.8	58.2	50.7	58.6	43.7	75.5
大船渡	50.0	55.9	43.9	50.9	60.7	57.6	63.0	69.1	38.2	50.3	56.9	91.5
宮古	31.9	35.5	31.0	29.5	43.7	44.1	53.8	46.4	39.0	49.5	50.0	81.3
仙台	33.7	45.0	29.3	31.6	42.4	63.8	55.7	63.5	40.5	55.3	45.4	73.6
石巻	33.3	37.6	27.3	27.2	31.9	52.6	46.1	52.1	32.9	36.1	33.3	57.6
山形	27.0	30.3	24.0	24.4	28.2	50.0	44.5	56.2	43.2	50.1	36.3	62.4
新庄	40.5	35.8	30.4	25.7	45.3	60.0	64.4	78.1	43.1	60.5	45.3	68.6
酒田	44.7	37.7	34.4	24.9	46.4	56.7	70.1	70.7	45.3	57.4	40.0	78.4
福島	25.9	35.8	25.8	25.4	31.4	61.4	46.5	53.6	44.8	45.7	36.5	62.2
若松	27.5	29.3	23.7	20.3	33.7	61.7	56.1	60.5	43.5	47.2	39.1	44.8
白河	40.4	41.3	38.2	40.1	55.5	72.0	65.0	69.4	52.4	65.8	62.8	99.7
小名浜	48.3	60.3	38.5	35.3	47.4	67.1	49.5	46.3	24.7	46.3	33.5	61.9

旬日照時間平年値(h)	5月			6月			7月			8月		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
青森	64.7	68.3	77.5	64.0	59.6	57.1	53.8	56.3	67.2	67.0	60.8	63.1
深浦	58.4	63.9	75.1	64.5	58.6	56.6	52.7	56.1	68.9	63.3	61.8	60.8
むつ	64.9	65.4	77.5	61.2	52.8	48.7	47.3	45.8	58.0	57.6	46.5	48.9
八戸	65.6	64.9	77.1	61.9	56.5	50.5	51.0	51.5	66.6	62.8	56.3	54.3
秋田	56.9	61.2	73.2	65.6	59.5	53.1	49.3	52.8	69.5	65.5	68.0	66.9
盛岡	61.3	61.7	71.9	57.8	51.3	42.6	42.2	42.0	59.1	56.4	52.9	49.6
大船渡	61.1	61.1	74.1	59.0	50.1	39.1	45.3	41.9	63.0	59.3	51.4	50.9
宮古	61.6	59.4	70.8	55.3	45.3	39.8	44.9	40.8	63.9	57.7	54.7	53.0
仙台	63.5	60.6	74.6	54.1	43.1	30.9	35.7	37.0	55.4	56.3	49.5	49.7
石巻	65.1	63.8	77.6	59.5	48.6	37.6	42.6	44.5	62.4	62.7	57.9	57.6
山形	62.9	62.0	76.9	62.2	52.3	39.3	42.7	43.2	70.0	61.9	61.8	61.0
新庄	55.7	56.8	67.6	59.7	53.2	39.9	40.8	45.3	68.4	60.6	61.3	55.6
酒田	60.5	62.3	76.6	66.2	60.0	49.7	46.5	53.4	80.0	71.0	72.3	68.3
福島	64.1	59.7	74.2	54.6	43.6	32.0	37.8	37.1	58.8	57.7	51.5	50.6
若松	62.8	60.1	74.9	63.9	53.9	40.1	46.8	45.6	76.6	67.8	66.4	65.3
白河	59.9	59.1	69.5	51.9	41.4	28.9	35.9	35.5	58.9	54.1	50.3	49.7
小名浜	62.7	62.4	74.5	58.5	44.9	35.2	42.1	41.9	69.4	66.0	65.0	63.0

（４）接近する台風の平年値

	5月	6月	7月
東北地方	0.0	0.1	0.3

＜参考資料（利用上の注意）＞

（１）気温（降水量）等は、「低い（少ない）」「平年並」「高い（多い）」の３つの階級で予報します。階級の幅は、1971 ～ 2000 年の 30 年間における各階級の出現率が等分（それぞれ３３％）となるように決めてあります（気候的出現率と呼びます）。

（２）予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった１０％以下や６０％以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度（３０％、４０％）の確率しか付けられません。

（３）晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い（少ない）場合は「平年に比べて多い（少ない）」、また平年の日数と同程度に多い（少ない）場合には「平年と同様に多い（少ない）」と表現します。

東北地方　３か月予報解説資料（5～7 月）

平成 20 年 4 月 24 日　仙台管区気象台

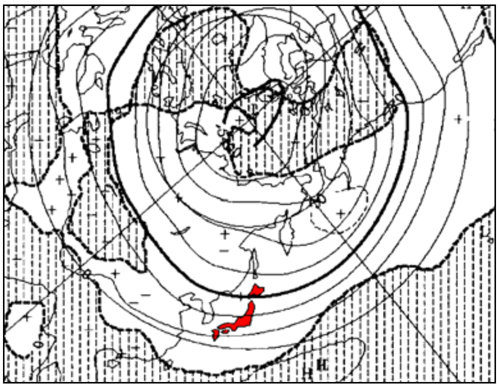
１．向こう３か月の確率予報の特徴

	気温	降水量
5～7 月	高い確率が 50％	各階級の確率の偏りは小さい
5 月：	高い確率が 50％	各階級の確率の偏りは小さい
6 月：	各階級の確率の偏りは小さい	各階級の確率の偏りは小さい
7 月：	各階級の確率の偏りは小さい	各階級の確率の偏りは小さい

２．数値予報（アンサンブル予報）による大気の流れの予想

3 か月平均の 500hPa 高度と偏差の予想図（右図）:

予想図では、日本付近の中緯度帯はおおむね正偏差（平年より高度が高く、暖気に対応）におおわれ、3 か月平均気温は高い傾向が予想される。



3 か月平均の 500hPa 高度と偏差の予想図

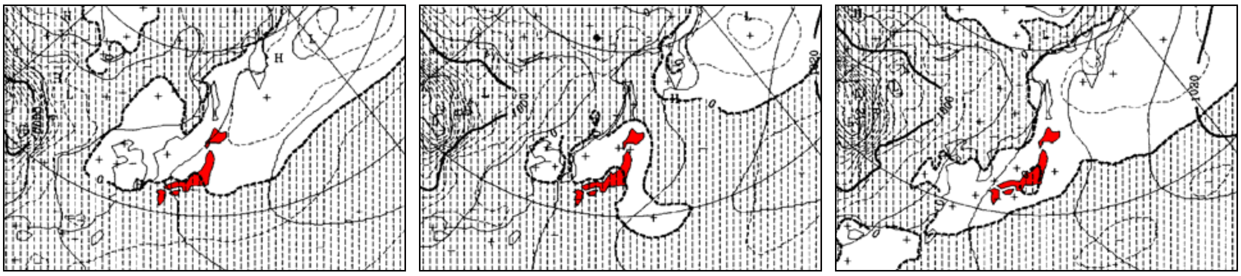
実線は等高度線 60m 毎、点線は偏差 30m 毎
陰影部は負偏差（一般に寒気に対応）

月別の地上気圧と偏差の予想図（下図）:

5 月：中国東北区から北日本とアリューシャン近海にかけて正偏差となる。東日本以南は弱い負偏差となり、平年より気圧が低い。日本付近は南岸を低気圧が通過しやすく太平洋側を中心に影響を受ける見込み。

6 月：北日本と日本の南東海上、アリューシャン近海が正偏差だが、中緯度帯は広く負偏差。太平洋高気圧は西への張り出しは弱く、やや北に張り出す。オホーツク海付近にも等圧線がやや張り出しており、東北地方は一時オホーツク海高気圧の影響を受け低温になる可能性がある。

7 月：日本付近はカムチャツカの東から東シナ海まで続く正偏差に覆われるが、東日本に負偏差がかかり、大陸と日本の南海上も負偏差となる。オホーツク海はやや強い正偏差となって等圧線が張り出しており、東北地方は一時オホーツク海高気圧の影響を受け低温になる可能性がある。

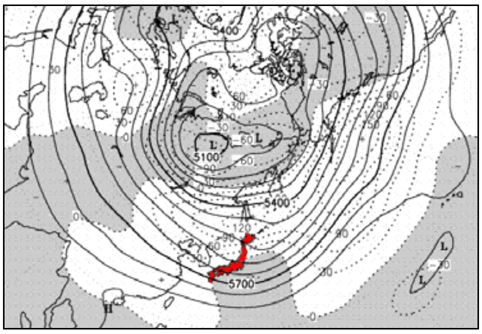


月別の地上気圧と偏差の予想図（左から 5 月、6 月、7 月）

実線は等圧線 4hPa 毎、点線は偏差 1hPa 毎、陰影部は負偏差

３．今月の循環場の特徴

4 月（20 日まで）：500hPa 高度では、シベリア中部からシベリア東部にかけて負偏差となった。その南の北緯 50 度帯ではモンゴル付近から東太平洋まで帯状に正偏差となった。北日本はその正偏差におおわれ、東北地方は寒気の影響が弱く、暖かい日が多かった。東日本以南と本州南海上は負偏差となり、南岸低気圧の影響を受けやすかったことに対応している。



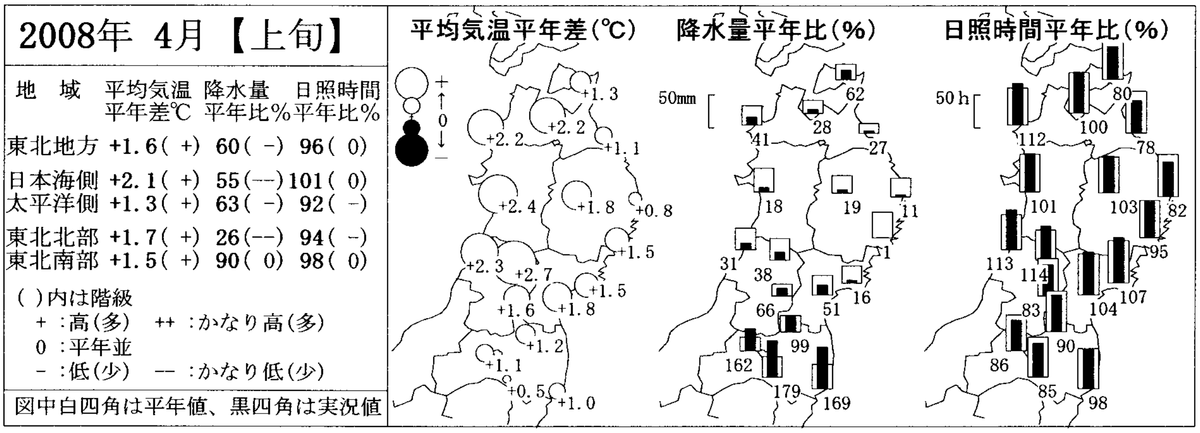
4 月 1 日～20 日の平均 500hPa 高度

実線は等高度線 60m 毎、点線は偏差 30m 毎、陰影部は負偏差

４．最近の天候経過

４月上旬：この期間、低気圧と高気圧が交互に通過し、天気は短い周期で変わった。1 日と 8 日から 10 日にかけては南岸低気圧の影響で東北南部を中心に雨となった。また、3 日から 5 日にかけては日本海から北海道を通過した低気圧の影響で東北北部でも雨となったところがあった。

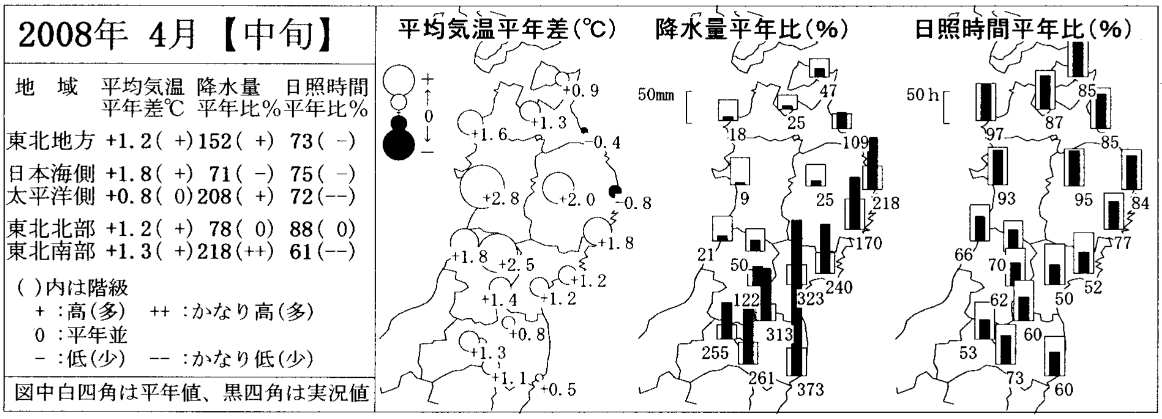
平均気温は東北地方で高い。降水量は東北北部でかなり少なく、東北南部で平年並。日照時間は東北日本海側で平年並、東北太平洋側で少ない。



東北地方における4月上旬の平均気温、降水量、日照時間平年差（比）

４月中旬：この期間、低気圧と高気圧が交互に通過し、天気は短い周期で変わった。11 日、13 日から 14 日にかけてと、18 日から 19 日にかけては南岸低気圧の影響で東北南部を中心にまとまった雨となり、特に 18 日から 19 日は大雨となったところもあった。

平均気温は東北日本海側で高く、東北太平洋側で平年並。降水量は東北北部で平年並、東北南部でかなり多い。日照時間は東北北部で平年並、東北南部でかなり少ない。

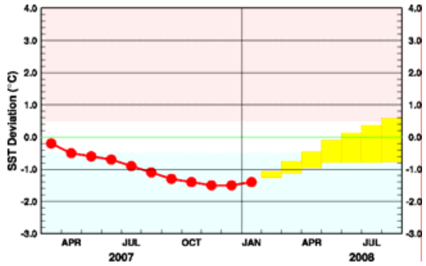


東北地方における4月中旬の平均気温、降水量、日照時間平年差（比）

５．太平洋赤道域の海水温等の状況、及びエルニーニョ現象等の今後の見通し

太平洋赤道域の海面水温は、中部から東部にかけての負偏差が前月より弱まった。海面から深度数百mまでの領域の水温では、中部から東部の負偏差が前月より弱まり、西部では顕著な正偏差が持続した。この状態は、ラニーニャ現象が弱まりつつあることを示している。

エルニーニョ監視海域の海面水温は、今後、次第に基準値に近づくと予測される。ラニーニャ現象は今後、夏にかけて終息に向かう見込みである。



エルニーニョ監視海域の海面水温の基準値との差の推移（折れ線グラフ）と今後の予測（ボックス）

＜参考資料＞

平年の天気出現日数（日）

	５月		６月		７月	
	東北日本海側	東北太平洋側	東北日本海側	東北太平洋側	東北日本海側	東北太平洋側
晴れの日	17.6	17.7	14.3	12.0	14.6	12.6
雨の日	10.4	9.3	10.3	10.4	10.9	11.1

晴れの日、雨の日は、それぞれ「日照率 40%以上の日数」、「日降水量 1mm 以上の日数」を用いている。